

大会日程

9月9日(金)

- 17:00～18:00 出前講座(徳之島高等学校) 講師:金山智子(駒澤大)
“徳之島”のイメージは誰がつくる?—地域イメージと地域形成の関係—

9月10日(土) 日本島嶼学会年次大会 (会場:徳之島町生涯学習センター)

- 08:30～ 開場・受付開始
09:00～09:20 開会の挨拶(日本島嶼学会会長 鈴木勇次)
挨拶と島の紹介(徳之島町長 高岡秀規)
09:20～10:20 基調講演(司会:長嶋俊介(鹿児島大))
<休憩>
10:30～11:50 関連講演(司会:本田碩孝(徳之島郷土研究会))
<昼食, ポスターセッション内容説明>
13:00～14:40 研究発表
<休憩>
14:50～16:10 研究発表
16:20～17:00 芸能鑑賞 ★神之嶺小学校夏目踊り保存会(解説:町田進)
★亀津浜踊り保存会(解説:新田武男)
17:00～17:40 総会
18:10～20:40 交流懇親会(会場:ホテルニューにしだ)

9月11日(日) 奄美・沖縄セミナー (会場:天城町役場)

- 08:30～ 開場・受付開始
09:00～09:10 挨拶(天城町長 大久幸助)
09:10～10:35 基調講演・研究発表
<休憩>
10:40～12:00 研究発表
<昼食>
13:00～17:00 島内巡検A(徳之島北部の自然・歴史を観察, アマミノクロウサギ・高橋尚子ロード)

9月12日(月) うちなるくにざかいセミナー (会場:徳之島交流ひろばほーらい館)

- 08:30～ 開場・受付開始
09:00～09:15 挨拶(伊仙町長 大久保 明)
09:15～10:00 境界論報告
10:00～12:00 国境(くにざかい)フォーラム
「奄美・徳之島で考える『日本』の境界」
12:00～12:10 総括コメント(大久保 明)
謝辞(鈴木勇次)
<昼食>
13:00～ 島内巡検B(徳之島南部の自然・民俗の観察, 泉重千代翁宅も)
※解散時間は航空機・船の時間に合わせる

発表題目リスト

基調講演には左端に*を付した。

9月10日(土):年次大会(徳之島町生涯学習センター)

総合司会:須山 聡

第1会場(2階ホール)

●基調講演(座長:長嶋俊介)

* 9:20 ~ 9:50 湯本貴和(総合地球環境学研究所):島の未来を考える—その固有性と脆弱性を超えて—

* 9:50 ~ 10:20 木部暢子(国立国語研究所):しまの方言を守るために

●関連講演(座長:本田碩孝)

10:30 ~ 10:50 三上絢子(法政大・研究員):過去・現在・未来へ永続可能な伝統文化の継承

10:50 ~ 11:10 中川 悟(アルバータ大):徳之島の住民が観る徳之島の島口、文化、アイデンティティー

11:10 ~ 11:30 岡村隆博(徳之島郷土研究会):滅びゆく島の言葉—徳之島方言は絶滅危機言語だ—

11:30 ~ 11:50 川島 遥(駒澤大・学)・須山 聡(駒澤大):学校における「シマの芸能」の継承活動

●研究発表【島嶼総合】(座長:大城 肇)

13:00 ~ 13:20 堀本雅章(法政大・研究員):沖縄県座間味村慶留間島における架橋に対する住民意識

13:20 ~ 13:40 神谷大介(琉球大)・赤松良久(山口大)・宮良 工(沖縄県環境科学センター)・竹林洋史(京都大)・二瓶泰雄(東京理科大):2010年10月奄美大島豪雨災害による観光への影響とそのマネジメントに関する考察

13:40 ~ 14:00 岡本祥宏(琉球大・院)・神谷大介(琉球大)・赤松良久(山口大):沖縄島における海水淡水化施設の効果と影響

14:00 ~ 14:20 長嶋俊介(鹿児島大):島嶼の津波被害とリスク管理—東日本大震災—

14:20 ~ 14:40 吉田竹也(南山大):観光に抗する島—球美の島の民族誌的研究—

●研究発表【島嶼総合】(座長:幸田勝弘)

14:50 ~ 15:10 内山五織(徳之島虹の会):文化の伝承・継承による『場』の教育の重要性—伊仙町木之香集落をフィールドとして—

15:10 ~ 15:30 堀本雅章(法政大・研究員):小規模離島における学校の役割と住民意識—沖縄県宮古島市大神島と竹富町鳩間島を比較して—

15:30 ~ 15:50 金山智子(駒澤大):徳之島の普天間移設問題に関するメディア報道—両論併記の視点からみるその影響—

第2会場(3階工作室)

●研究発表【医療・健康】(座長:立石雅昭)

13:00 ~ 13:20 紙村 徹(神戸市看護大):ニューギニア島北部 東セピック州ワシク丘陵クオマ族の健康維持術—清祓師のいない風景—

13:20 ~ 13:40 野田伸一(鹿児島大):ミクロネシア連邦におけるデング熱の発生と媒介蚊調査

13:40 ~ 14:00 森 隆子(鹿児島大)・兒玉慎平・波多野浩道:A島B町におけるSocial Capitalと健康状態との関連

14:00 ~ 14:20 野中涼子(親子ネットワークがじゅまるの家):どうする!?徳之島のお産

14:20 ~ 14:40 阿部玲佳(高知大・院)・大谷和弘(高知大)・諸岡慶昇:フィリピン・バタン島における薬用植物の利用によるセルフメディケーションの現況と展望

●研究発表【国内島嶼】（座長：野呂一仁・山上博信）

14:50～15:10 鈴木勇次（長崎ウエスレヤン大）：離島振興法と山階芳正—法の運用と地域指定—

15:10～15:30 吉岡慎一（みずほ情報総研）・南 博（北九州市立大）：長崎県五島市における市町村合併を通じた住民意識の変化

15:30～15:50 對馬秀子（埼玉医科大短大）：記録からみた小笠原の開発—甘蔗栽培がもたらしたものの—

15:50～16:10 土屋 久（共立女子大）：ミコの唱えるダイモクについて—八丈島・青ヶ島におけるカミとホトケ—

第3会場（2階会議室）

●研究発表【海外島嶼総合】（座長：中俣 均・山上博信）

13:00～13:20 運天 陵（高知大・院）・八幡 暁（ちゅらねしあ）・神田 優（黒潮実感センター）・山岡耕作（高知大）：ルソン島中部東岸における零細漁業—シーカヤックを用いた調査試行—

13:20～13:40 花瀨馨也（北海道医療大）：グローバル化の中のコモロ諸島—マルセイユのコモロ系移民における同郷組合活動—

13:40～14:00 高橋美野梨（筑波大・院）：批判対象としての「先住民生存捕鯨」—グリーンランドにおける捕鯨とEUの「洗練された圧力」—

14:00～14:20 山本宗立（鹿児島大）：島嶼部における唐辛子の多目的利用—特産品としての可能性—

14:20～14:40 河合 溪（鹿児島大）・西村 知・小針 統・鳥居享司・Veitayaki, J.（南太平洋大）：フィジー沿岸域における「人と自然の連動システム」に関する学融的研究

●研究発表【海外島嶼（政治社会）】（座長：大城 肇・中俣 均）

14:50～15:10 武原由美子（ニューカレドニア教員）：北方領土問題—日本とロシア；千島列島における国境紛争の歴史—

15:10～15:30 三木 健（沖縄ニューカレドニア友好協会）：ニューカレドニアと沖縄系移民—交流の歴史とアイデンティティ—

15:30～15:50 武原由美子（ニューカレドニア教員）：ニューカレドニアの日系移民の歴史—悲しくて美しい物語—

15:50～16:10 尾立要子（大阪大・非）：不確かな境界—ニューカレドニアとジャン=マリ・チバウ—

9月11日(日):奄美・沖縄セミナー(天城町役場)

総合司会：長嶋俊介

第4会場（4階ホール）

●基調講演・討論【歴史】（座長：前利 潔）

* 9:10～9:40 豊見山和行（琉球大）：近世奄美・琉球交流史の諸相

* 9:40～10:10 弓削政己（奄美郷土研究会）：奄美諸島の系図焼却論と『奄美史談』の背景
<討論資料> 前利 潔（知名町教育委員会）：近世奄美諸島史の諸論点

●研究発表【地名・歴史・考古学】（座長：弓削政己・豊見山和行・遠部 慎）

10:40～11:00 新里亮人（伊仙町立歴史民俗資料館）：考古学からみた奄美諸島の歴史

11:00～11:20 恵原義之（関東学院大学）：奄美市名瀬ネセブ（根瀬部）集落の特徴的地名について

11:20～11:40 鼎 丈太郎（瀬戸内町立郷土館）：瀬戸内町におけるムラ以前のこと

11:40～12:00 具志堅 亮（天城町教育委員会）：天城町内の遺跡の概要

第5会場（3階会議室）

●基調講演・研究発表【精神・文化】（座長：本田碩孝）

* 9:15～9:45 酒井正子（川村学園女子大）：徳之島の哭（な）きうたと葬制

9:45～10:05 広田 勉（徳之島町議会）：人生最高の「おくり」を集落で催す—花徳集落における集落葬儀の導入に向けて—

10:05～10:25 財部めぐみ（鹿児島大奄美サテライト修了生）：奄美大島仏教の歴史

●研究発表【文化・食生活】（座長：對馬秀子）

10:40～11:00 本田碩孝（徳之島郷土研究会）：徳之島の民話について—採録体験を通しての成果と課題—

11:00～11:20 松岡由紀（徳之島郷土研究会）：内から見る徳之島比較文化論

11:20～11:40 高橋昂輝（駒澤大・学）・須山 聡（駒澤大）：鶏飯誕生 第2報—郷土料理へのまなざし—

11:40～12:00 中畑（常松）典子（鹿児島大・院）：小学生の食生活に関わる生活調査と教育現場のその後の取り組みについて

第6会場（3階議員控室）

●研究発表【自然・産業】（座長：鈴木勇次・野田伸一）

9:15～9:35 鳥居享司（鹿児島大）：養殖資本の導入による離島漁業振興の効果と課題—鹿児島県甕島を事例として—

9:35～9:55 寿 洋一郎（元天城町長）：農業と離島徳之島

9:55～10:15 三木 健（沖縄・八重山文化研究会）：パイン産業と水牛の導入—石垣島における台湾農業者の入植史—

10:15～10:35 八並一寿（玉川大）・小野寺 敏（昭和薬科大）：徳之島に自生するシマグワの食品機能性の調査報告

●研究発表【哲学・環境・平和】（座長：立石雅昭）

10:40～11:00 寶田辰巳（徳之島町教育委員会）：吉満義彦と徳之島

11:00～11:20 幸多勝弘（徳之島郷土研究会）：徳之島の自然と平和を守る取り組み—経過と概要—

11:20～11:40 松村博光（クロウサギの里）：徳之島の現状

11:40～12:00 美延睦美（徳之島虹の会）徳之島の岩石研究から繋がったもの

9月12日(月):うちなるくにざかいセミナー(徳之島交流ひろば ぽーらい館)

総合司会：對馬秀子・山上博信

第7会場

●境界論報告（座長：須山 聡）

9:15～9:30 仲地 清（名桜大）：琉球弧の中の北緯27度線—越境の合法と非合法—

9:30～9:45 長嶋俊介（鹿児島大）：硫黄島・トカラ・ヤマトをめぐる境界論

9:45～10:00 三上絢子（法政大・研究員）：米軍統治下における人の移動と非正規交易—奄美と沖縄との間を中心として—

●国境（くにざかい）フォーラム「奄美・徳之島で考える『日本』の境界」

10:00～12:00 パネリスト：岩下昭裕（北海道大）・平井一臣（鹿児島大）・森 宣雄（聖トマス大）・屋良朝博（沖縄タイムス） コメンテーター：古川浩司（中京大）
